

パブリック・コメントの意見と市の見解

「市の考え方の区分」

◎:意見を反映し案を修正した ○:意見を一部反映し、案を修正した △:案を修正しなかった □:その他(感想、この案件以外への意見等)

No.	意見	市の考え方	区分
1	<p>(意見) これまで、平成5～20年度に計15回実施したワシントン州ロングビュー市への中学生海外派遣事業に支出してきたコストを詳細に本計画で明記せよ。</p> <p>(理由) 平成17年度の実績によれば、派遣人員19名(中学生16名、引率者3名)に対し、派遣代金として、475万円もの血税を和光市は支出した。(一人当たりに対し25万円もの税金支出) これで換算すれば、15年間で7,000万円余りの驚くべき血税を支出してきたこととなる。逸脱する数字的なコスト面に対しては、故意に隠蔽したがる役人の傾向を一掃する意味からも、本計画では詳細にコスト面を表示せよ。</p>	<p>第二次和光市国際化推進計画は、平成23年～32年度までの10年間で計画期間として、現在の社会状況に即した国際推進施策の基本的な指針を示すものです。</p> <p>本計画では、これまでの各施策を振り返り、現状と課題、目指す将来像を述べていますが、各事業の費用対効果を検証することは本計画以外の業務として行うものであることから、本計画には、これまでに実施した施策のコストは記載いたしません。</p>	△
2	<p>(意見) 平成5～20年度に計15回実施したワシントン州ロングビュー市への中学生海外派遣事業に参加した彼等青少年が現状において、どれだけの国際感覚をもつに至ったのかの動向を和光市民に知らしめる意味でも、彼らへの追跡調査を本計画に採用して下さい。</p> <p>(理由) 和光市民労力犠牲の賜物とも言える著しい血税支出で実施してきた上記事業だけに、15年間で240名もの中学生をただ遊学させただけでは意味はない。当然、国際人として、恥ずかしくない生き方を彼等は現在も全うしているのかを和光市は独自の調査(コスト高の調査会社は不要)を実施し、その結果を和光市民に報告する義務を負う。おそらく期待薄だが、できれば何名かは商社マンとして、世界的に現在活躍中等の報告を受けたいところだ。</p>	<p>市は、姉妹都市への中学生海外派遣事業を実施してきましたが、平成21年度は新型インフルエンザの影響により中止しました。また、同年10月に実施した事業仕分けの結果(「不要」と厳しい財政状況を踏まえ、平成22年度以降は当事業を実施していません。</p> <p>本計画では、「学校教育における国際理解教育の推進」の主な取組の一つとして、「姉妹都市との教育交流事業」を記載し、今後の事業内容について研究することとしています。</p> <p>過去に実施した中学生海外派遣事業参加者への追跡調査を行うことは、これまでの事業の評価としては有効ですが、本計画は、今後10年間の国際化推進施策や取組を具体的に示すものであることから、追跡調査についての記載はいたしません。</p>	△
3	<p>(意見) 例年、中学生一人換算の遊学代金として、25万円以上もの著しい血税を支出してきた中学生海外派遣事業(平成5～20年度に計15回実施)が平成21年10月に実施した和光市事業仕分けの結果を受け休止と決まった。ならば、休止と決まった理由を本計画にわかりやすく記載せよ。</p> <p>(理由) 15年間で、7,000万円余りの著しい血税を支出して実施した上記事業だけに、当然に和光市は実施効果の有無と休止理由を和光市民にわかりやすく告知する義務を負う。過去の反省と詳細な分析あればこそその国際化推進計画のはずである。</p>	<p>中学生海外派遣事業の事業仕分け(平成21年10月実施)結果は「不要」でした。事業仕分け結果については、市ホームページで公開されておりです。 URL:http://www.city.wako.lg.jp/var/rev0/0007/5550/2010223205158.pdf</p> <p>事業仕分け結果と厳しい財政状況を踏まえ、平成22年度以降は当事業を休止しています。時代やニーズに適した教育交流が行われるよう、事業目的や実施手段を見直す必要があるため、方向性を休止と判断し、今後は、従来の手法を見直し、姉妹都市交流について可能な手法を研究することとしています。</p> <p>本計画では、「学校教育における国際理解教育の推進」の主な取組の一つである「姉妹都市との教育交流事業」として記載しています。本計画は、今後10年間の国際化推進施策や取組を具体的に示すものであることから、事業仕分け結果及び事業の休止理由は記載いたしません。</p>	△

No.	意見	市の考え方	区分
4	<p>(意見) ロングビュー市の役所に勤務する正規職員の平均年収とその地元地方議員の平均報酬額等を調査すべきプランも本計画に明記せよ。</p> <p>(理由) 多大な血税出費をしてまで、和光市は上記の市と15年間もの長きに渡り、中学生海外派遣事業として交流してきただけに、互いの行政システムと地方議会の仕組みを貴重な情報源として交換すべきだ。それにより、高額な和光市正規職員の人件費である平均660万円の年収と平均2,500万円～3,000万円の退職金を大幅削減するヒントも生まれ、和光市行財政改革の礎ともなる。ただ仲良くするだけが国際交流ではなく、互いの行財政システムに要すコスト面等を知り得てこそその国際交流である。</p>	<p>本計画では、「海外都市との多面的な国際交流の推進」を施策の基本方針の一つとし、その中で「姉妹都市との交流の推進」について記載しています。その具体的な内容は、姉妹都市の周知に引き続き取り組むことと、交流事業のあり方について研究することです。</p> <p>姉妹都市双方が、行財政システムや議会の仕組み、コスト等について情報交換や比較を行い市政に活かすことは、姉妹都市交流のあり方の一つであると考えます。しかし、正規職員や議員の平均年収・報酬等の調査については、例えば日本では人事院勧告に準拠した給与体系を採用していることなど、基本的な差異があることから、海外の都市との比較検証は難しいと考えます。したがって、本計画には、正規職員や議員の平均年収・報酬等の調査自体は記載いたしません。</p>	△
5	<p>(意見) 日米教育システムの違いを徹底的に比較検証し、その分析研究をすべく計画を採用せよ。</p> <p>(理由) 我が国の学校教育に不足するのは、ディベート能力とプレゼン能力のレベルを上げるべく教育であろう。ならば、友好関係の深いロングビュー市から、その教育ノウハウを吸収する努力をしてこそその国際交流である。</p>	<p>本計画では、「国際交流〔協力〕活動の促進と国際理解教育の推進」を施策の基本方針の一つとし、その中で「学校教育における国際理解教育の推進」について記載しています。その中では、国際社会において自分の考えを表現する力を育成することが主な目標の一つであり、ディベートやプレゼンテーション能力の向上も重要であると考えます。</p> <p>本計画では、「学校教育における国際理解教育の推進」の主な取組内容として「姉妹都市との教育交流事業」を位置付け、事業のあり方について研究することとしています。その取組の一環として、必要に応じて姉妹都市との教育システムの比較検証及び分析研究を行うこととします。したがって、日米教育システムに関する調査自体は本計画に記載いたしません。ご意見は今後の施策を展開する際の参考にさせていただきます。</p>	△
6	<p>(意見) 和光市国際化推進計画事業を民間委託すべきである。この計画案を採用せよ。</p> <p>(理由) 和光市財政難の理由からか、英会話能力高レベルな非常勤職員(週3日勤務で月収7万円)が平成22年度付けで解雇された。この件は、和光市正規職員に要す人件費を数パーセントすら削れない和光市と市議会の無気力さの要因が生んだ悲劇とも言える。今後、身分保証されている和光市正規職員の高額な人件費を大幅削減できぬ以上、当事業を民間委託シフトするのがベターな方法である。むろん、その際は、例年新規採用される和光市正規職員の採用数を大幅削減する調整努力も必要不可欠となる。</p>	<p>本計画では、市の国際化は、市民、地域団体、企業・研究機関及び市が相互に連携して取り組んでいくこととしています。その中で、市は、本計画の進行管理及び国際化推進体制の強化などを担うこととしています。国際化推進に係る各事業の企画から実施は、各担当課が行っています。</p> <p>市は、今後、市の国際化を効率的かつ効果的に推進するために、事業の委託や地域団体等との協働事業の必要性・可能性を検討し、施策を展開していきます。民間委託は、その選択肢の一つではありますが、社会状況や市の財政状況を踏まえた上で検討するものであることから、本計画には、民間委託についての記載はいたしません。</p>	△

No.	意見	市の考え方	区分
7	<p>(意見) 本件パブコメ回答をするため、和光市国際化推進懇話会各委員からの参考意見を当委員会で直接聞くことなく、和光市がコメント作成したとなれば、当懇話会と本件パブコメ参加者市民を軽視したことに値する。</p> <p>(理由) 何のために当懇話会が存在しているのか？和光市視点だけでなく、より多くのご意見を参考にしつつ、パブコメ回答を実施すべきである。 その方がパブコメ参加者にも張り合いが出る。当然、和光市当局は今後もパブコメ参加者をより多く募るためにも、モチベーションを上げる配慮を実施すべきである。</p>	<p>市は、本計画の策定に当たり、素案の内容について和光市国際化推進懇話会に意見を求め、平成22年3月から計4回の会議を開催しました。その結果、本計画の素案は、和光市国際化推進懇話会委員の意見・提案及び会議での検討結果を反映した内容となっています。</p> <p>しかし、パブリック・コメントは市の判断と責任により実施するものであり、本件については、和光市国際化推進懇話会に報告をすることとしています。この度のご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>	□